



「こども図書館船 ほんのもり号」を活用した国際交流事業について

令和8年度「こども図書館船 ほんのもり号」の運航は、就航以来初めてとなる海外の学校との国際交流から開始します。

4月28日（火）および30日（木）に「ほんのもり号」に乗船した台湾の新北市鶯江国民小学校の5年生児童22名が、豊島と本島をそれぞれ訪問し、各島（本島訪問においては、広島も合同）の小・中学校の児童等と次のとおり交流します。

1 開催概要

(1) 豊島／4月28日（火）

- ◎交流内容 土庄町立豊島小学校の児童とアートを巡るなど、芸術を介した交流
- ◎交流場所 豊島小学校・豊島美術館・唐櫃浜・心臓音のアーカイブ
- ◎交流スケジュール

8：10～ 8：50 鶯江小／ほんのもり号クルーズ（高松港→豊島（家浦港））【約40分】

9：00～ 9：20 ①林舜龍氏（台湾出身）作品「国境を越えて・祈り」を見学（甲生海岸）

■交流事業

9：40～ 9：55 ②開会式（豊島小学校体育館）

10：00～10：30 ③昔遊び体験（同上）／けん玉・コマなど

11：00～12：00 ④アート見学、ワークショップ（豊島美術館）

12：40～13：20 ⑤合同昼食（豊島小学校体育館）

13：45～15：00 ⑥唐櫃浜散策・アート体験（唐櫃浜周辺）

／マルチバスケットボール・心臓音のアーカイブ など

15：10～15：20 ⑦閉会式（唐櫃港）

15：20～16：10 鶯江小／ほんのもり号クルーズ（豊島（唐櫃港）→高松港）【約50分】

(2) 本島／4月30日（木）

- ◎交流内容 丸亀市立本島小中学校・広島小中学校の児童等と日本や瀬戸内の文化および絵本を介した交流
- ◎交流場所 本島小中学校体育館・塩飽勤番所
- ◎交流スケジュール

9：00～ 9：50 鶯江小／ほんのもり号クルーズ（丸亀港→瀬戸大橋→本島港）【約50分】

■交流事業（本島小中学校体育館）

10：00～10：30 ①開会式

10：45～11：45 ②和太鼓交流

11：45～12：30 ③合同昼食／キッチンカーでさぬきうどんを提供

12：30～13：30 ④本を介した文化交流／二言語で読み聞かせ 等

13：45～14：45 ⑤日本文化交流／折り紙、習字、うちわ、島の文化学習 等

14：45～14：55 ⑥閉会式 ※広島小中児童は帰路へ

15：15～15：55 ⑦文化施設見学（塩飽勤番所）

16：10 ⑧お見送り（本島港）

16：10～17：00 鶯江小／ほんのもり号クルーズ（本島港→瀬戸大橋→丸亀港）【約50分】

(3) オンライン交流／4月17日（金）

◎交流内容

鷺江国民小学校と豊島小学校の児童が、来日前にオンラインによる交流を実施します。

互いの学校紹介や地域にまつわるクイズを出題し合うことで、両地域への興味関心を深めるとともに、来島への機運を高めます。

◎交流日時 令和8年4月17日（金）10:00～11:00 鷺江国民小学校と豊島小学校

2 取材に関するお願い

①取材いただける場合は、それぞれ下記の日時まで、担当までご連絡をお願いします。

②各島へは、下記の定期船にご乗船ください。

③各島の各交流場所への移動手段は、各自でご手配ください。

④取材中は、自社腕章を着用してください。

⑤撮影に配慮が必要な児童・生徒がいますので、御留意ください。

⑥ほんのり号クルーズの船内での取材は、乗船定員の関係でご希望に添えない場合があります。

⑦荒天の場合は、交流は中止します。中止決定日時は、下記のとおりです。

	◎豊島 【4月28日（火）】	◎本島 【4月30日（木）】	◎オンライン交流 【4月17日（金）】
①取材申込期限	4月27日（月）17時	4月28日（火）17時	4月16日（木）17時
②乗船推奨の 定期船	7:41 高松港発 8:16 豊島家浦港着 (旅客船)	7:40 丸亀港発 8:15 本島港着 (フェリー)	7:41 高松港発 8:16 豊島家浦港着 (旅客船)
⑦中止決定日時	4月27日（月）13時	4月28日（火）13時	—

【参考】

(1) 各校の児童数（令和8年4月1日時点）

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
豊島	2人	4人	2人	3人	2人	1人	—	—	—
本島	1人	2人	1人	0人	0人	0人	1人	1人	3人
広島	2人	0人	2人	0人	0人	1人	1人	1人	2人

(2) 新都市立鷺江国民小学校について

全校児童数約2,500人を有し、新都市内でも上位に入る規模の大規模校です。児童の国際的な視野を広げることを重視し、英語によるコミュニケーション活動や異文化理解教育に積極的に取り組んでいます。

今回、来日する児童は、国際交流サークル（メンバー数35人）に所属し、国際交流に強い関心を持ち、日ごろから世界各国の文化や生活について学んでいます。多くの児童にとって、初めての日本訪問となり、日本の学校との交流や文化体験を通して、実践的な国際理解を深める貴重な機会となることを期待されています。